

小糸川の現状と課題について

平成20年3月18日

1. 小系川流域の概要

2. 流域の自然特性

- (1) 気象、(2) 地形・地質、(3) 河道特性

3. 流域の社会特性

- (1) 流域開発の歴史、(2) 流域の人口、(3) 土地利用
- (4) 流域の諸計画、(5) 流域内の主な文化財

4. 洪水被害と治水事業

- (1) 過去の洪水被害実績、(2) 従来 of 治水計画
- (3) 現況河道の整備状況

5. 水利用と水辺空間利用

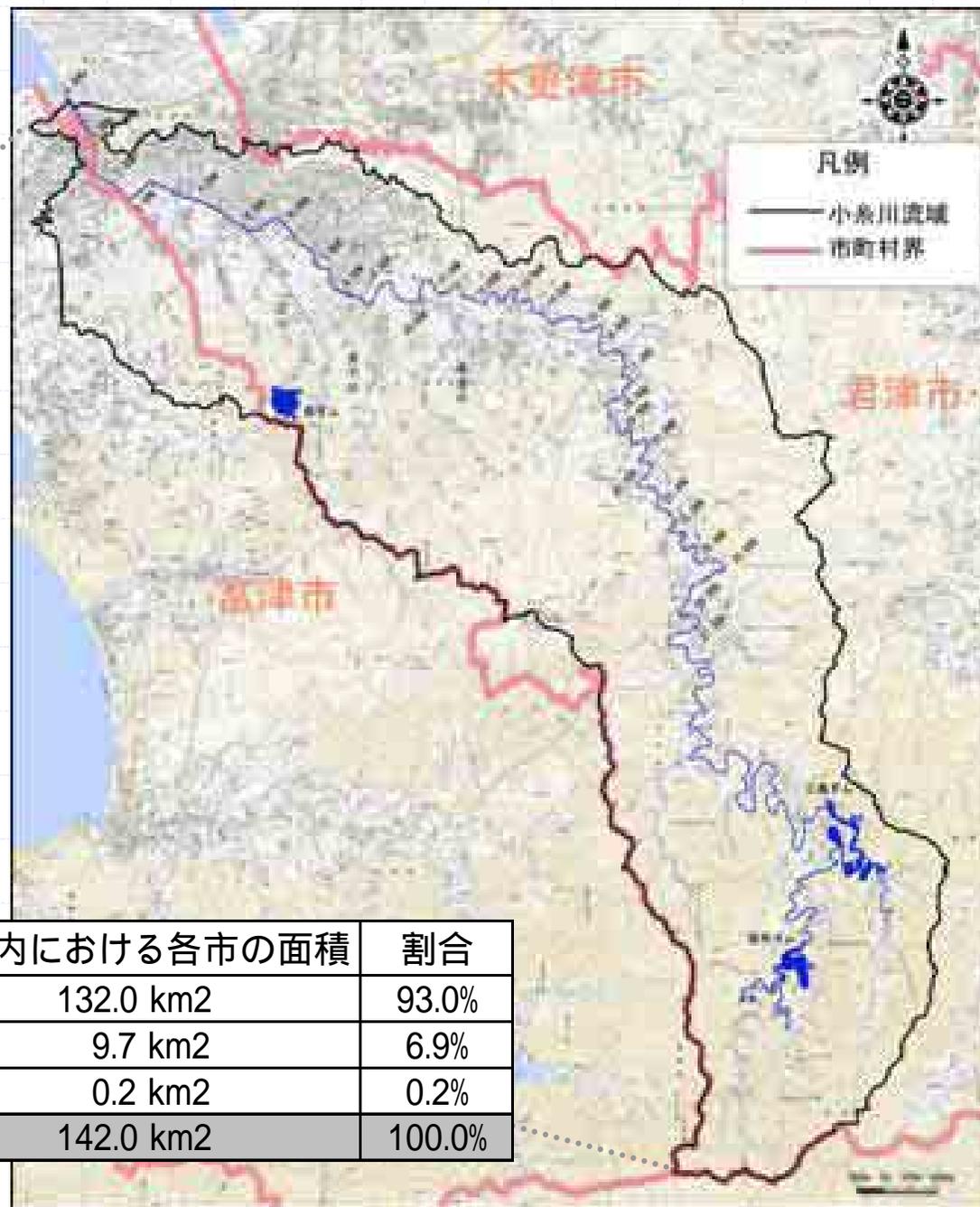
- (1) 水利用の現状、(2) 水辺空間利用の現状

6. 自然環境

- (1) 河川水質、(2) 植物、(3) 動物

1. 小糸川流域の概要

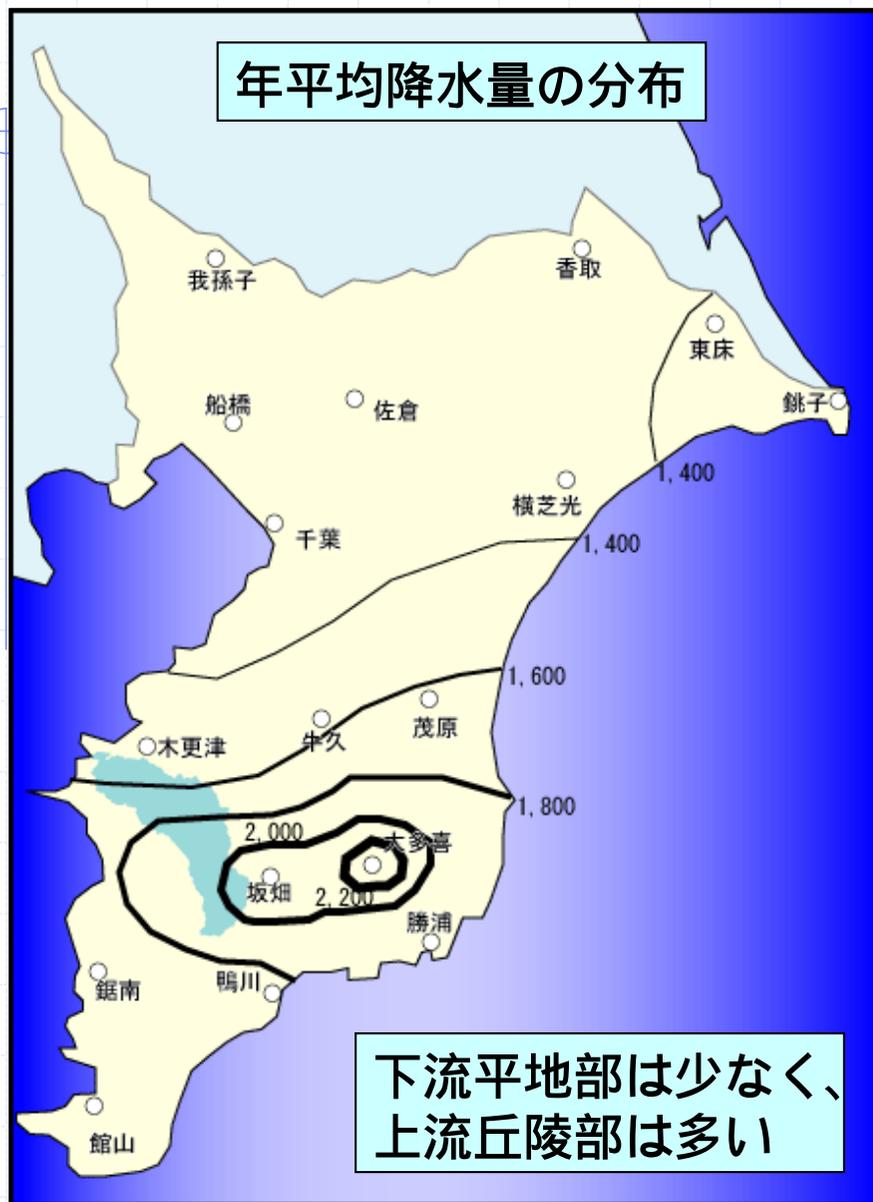
流域面積：142.0km²
流路延長：80.0km
(指定延長：65km)



	流域内における各市の面積	割合
君津市	132.0 km ²	93.0%
富津市	9.7 km ²	6.9%
木更津市	0.2 km ²	0.2%
流域全体	142.0 km ²	100.0%

2. 流域の自然特性

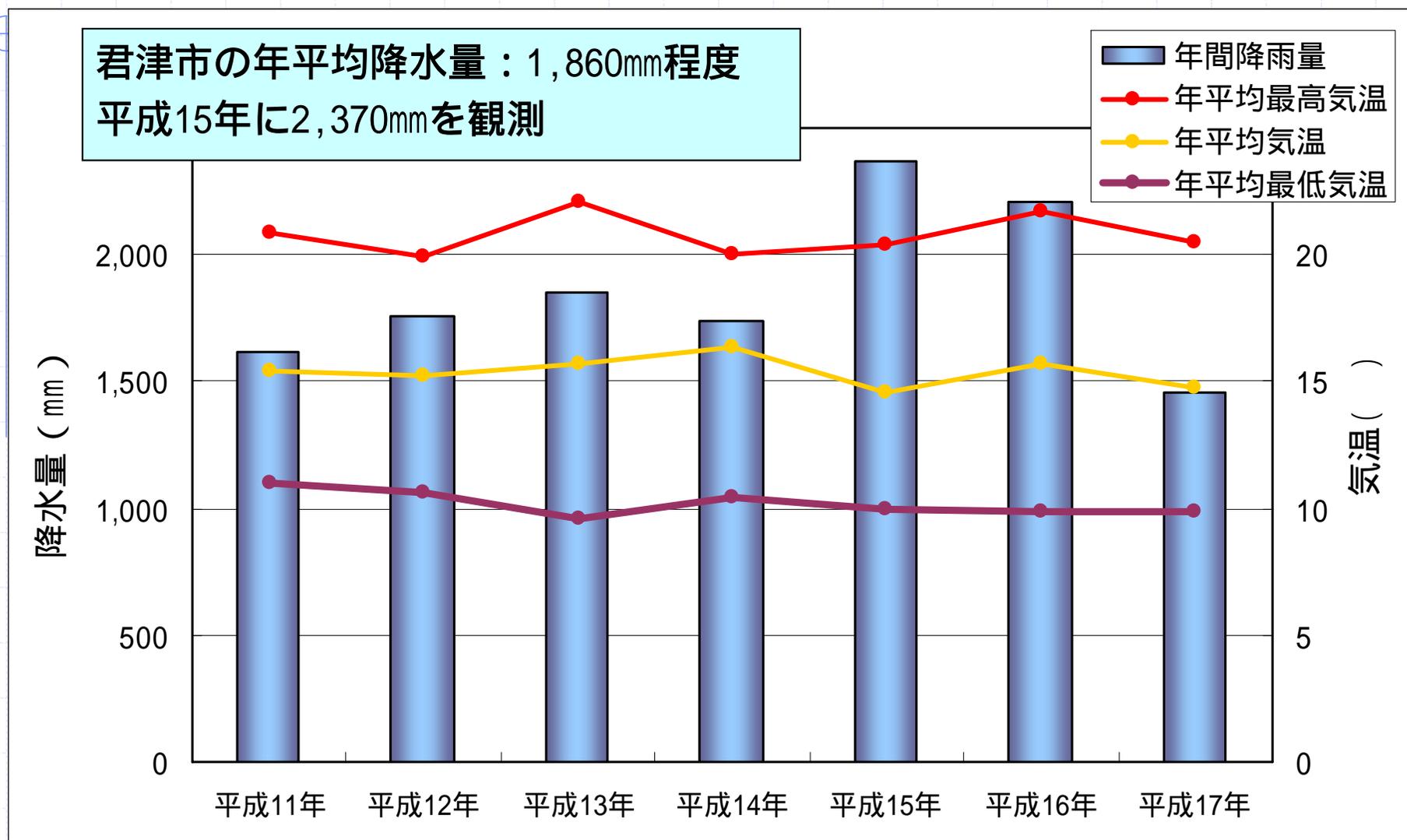
(1) 気象 (1/3) ~ 年平均降水量と年平均気温の分布 ~



出典：銚子地方気象台『年間降水量分布図』、『年平均気温分布図』

2. 流域の自然特性

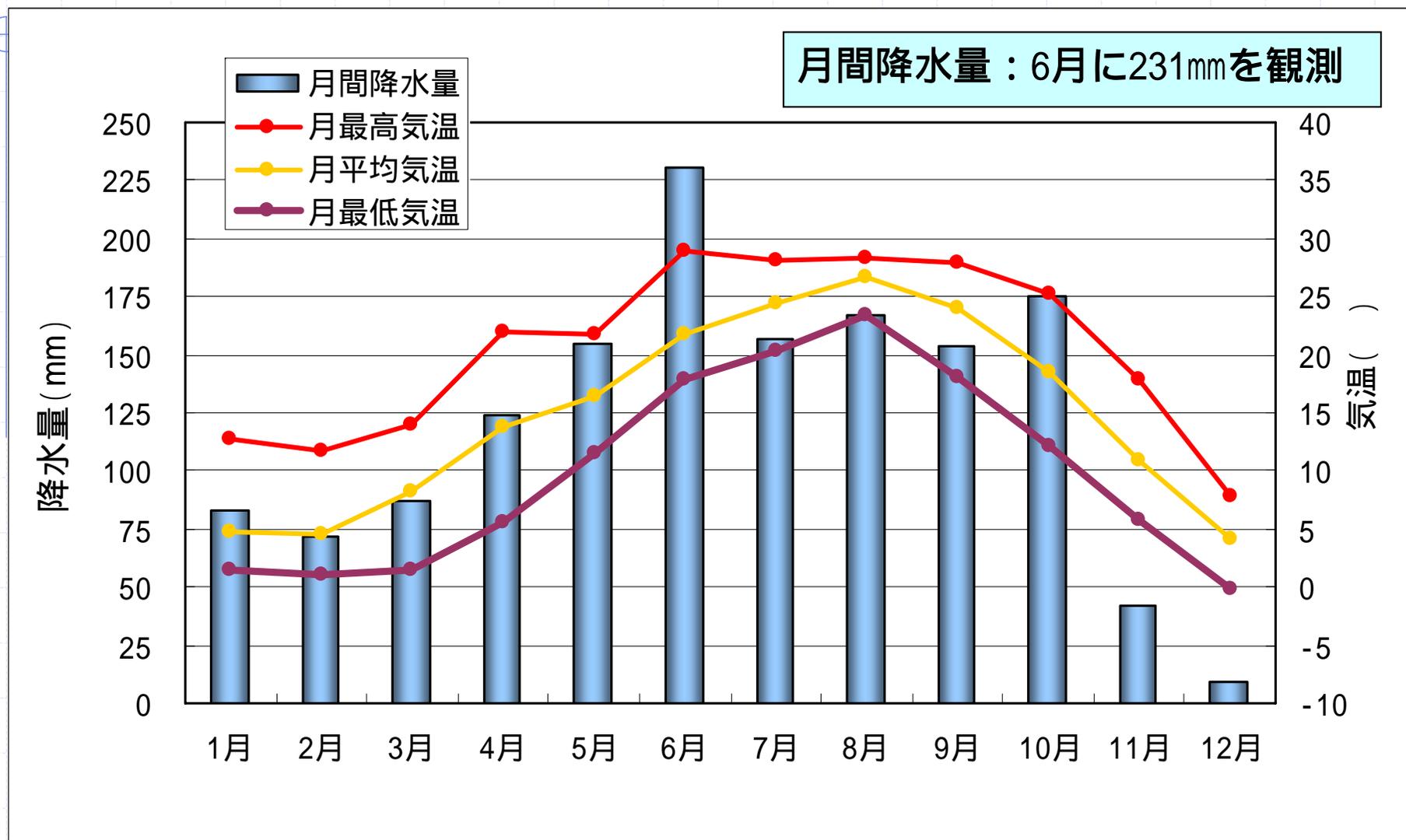
(1) 気象 (2/3) ~ 君津市の年平均気温と年間降水量 ~



出典：『君津市統計書』

2. 流域の自然特性

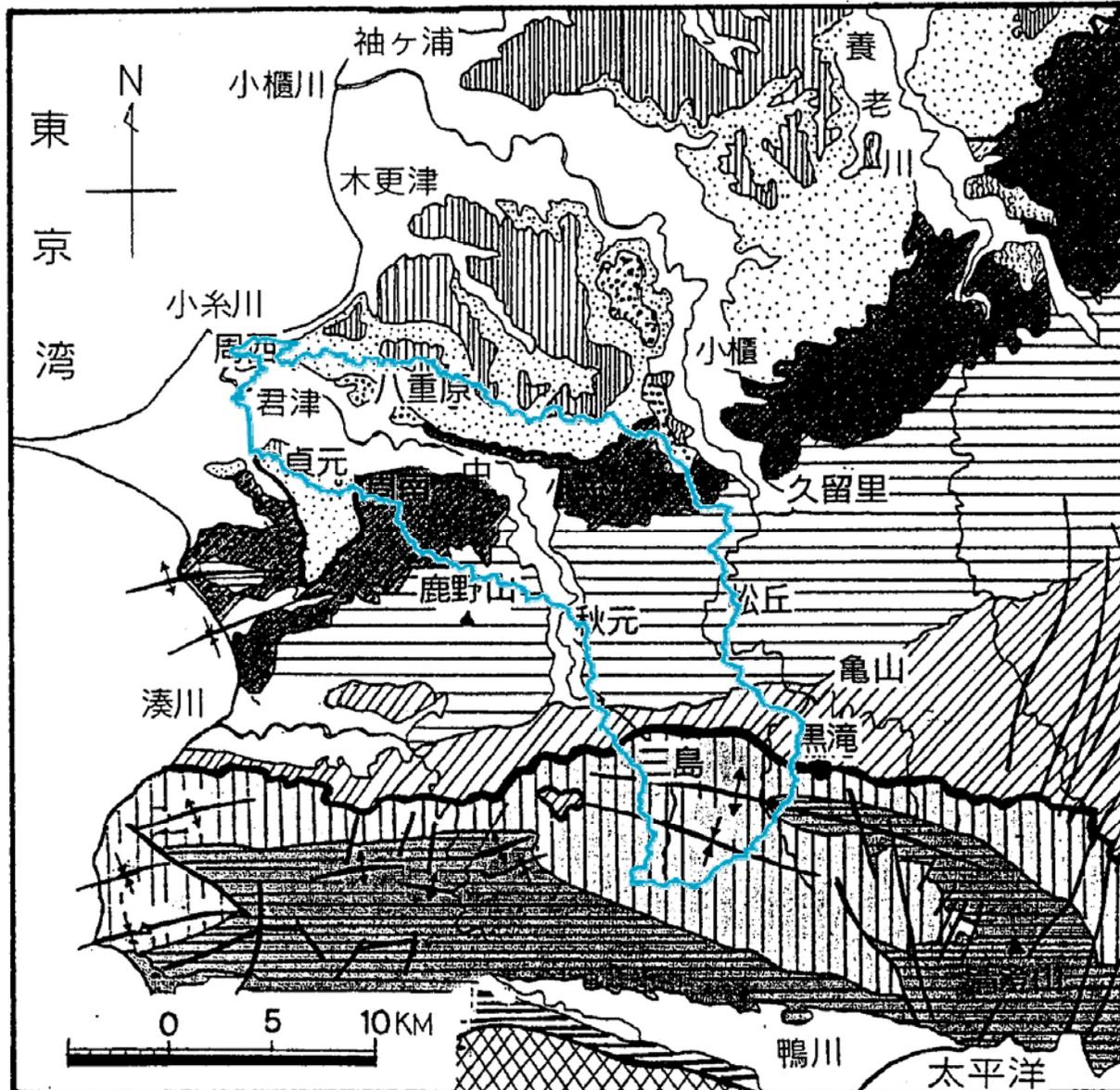
(1) 気象 (3/3) ~ 君津市の月平均気温と月間降水量 (平成17年) ~



出典：『君津市統計書』

2. 流域の自然特性

(2) 地形・地質



【地質】安房層群、上総層群、上総層群、関東ローム層

【地形】下流平地部標高は1～20m、上流丘陵地標高は20～360m程度

凡例

- 段丘
- 下総層群上部
- 下部
- 上総層群上部
- 中部
- 下部
- 黒滝不整合
- 安房層群上部
- 下部
- 額岡層群および火成岩体
- 背斜
- 向斜
- 断層

2. 流域の自然特性

(3) 河道特性

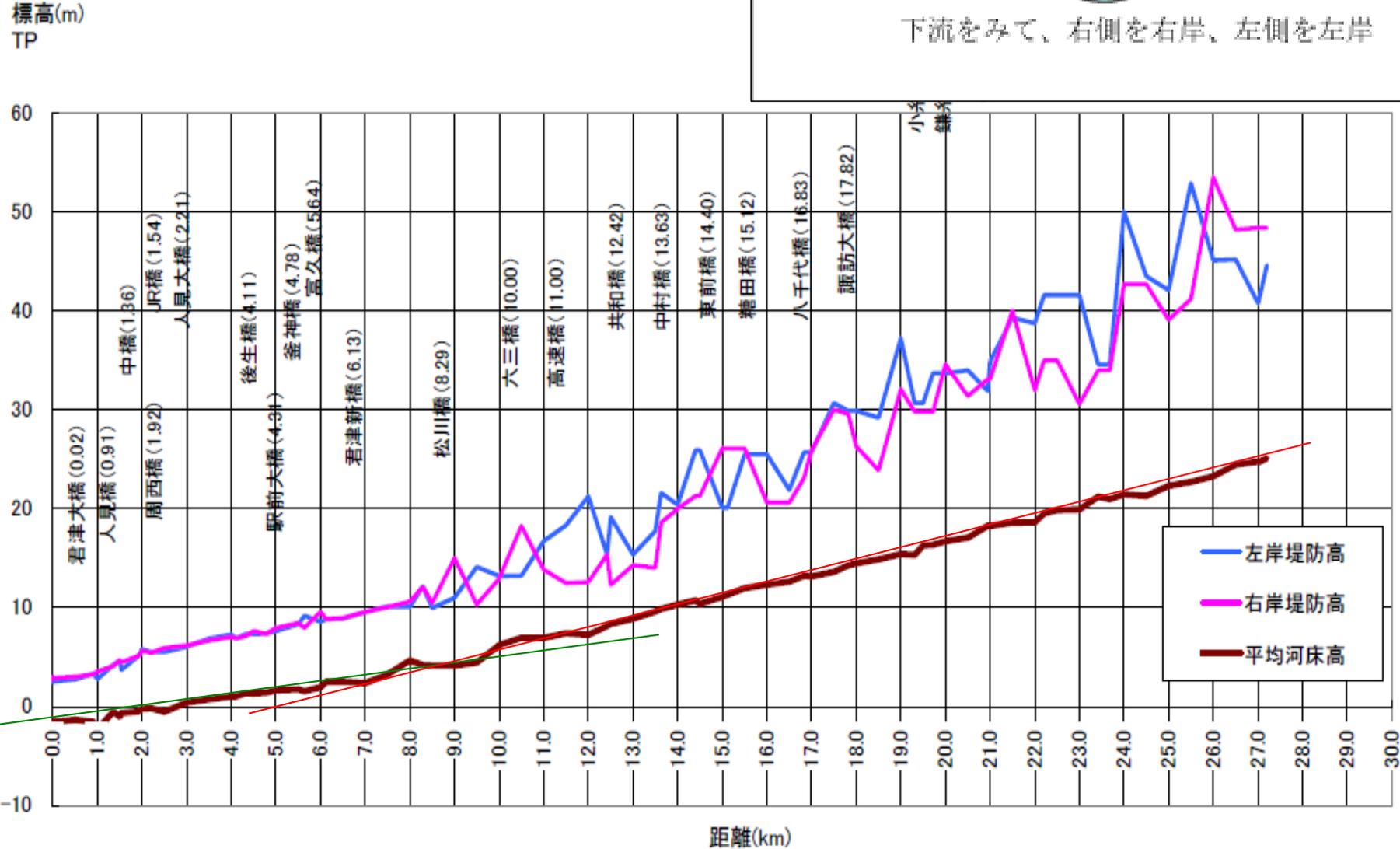
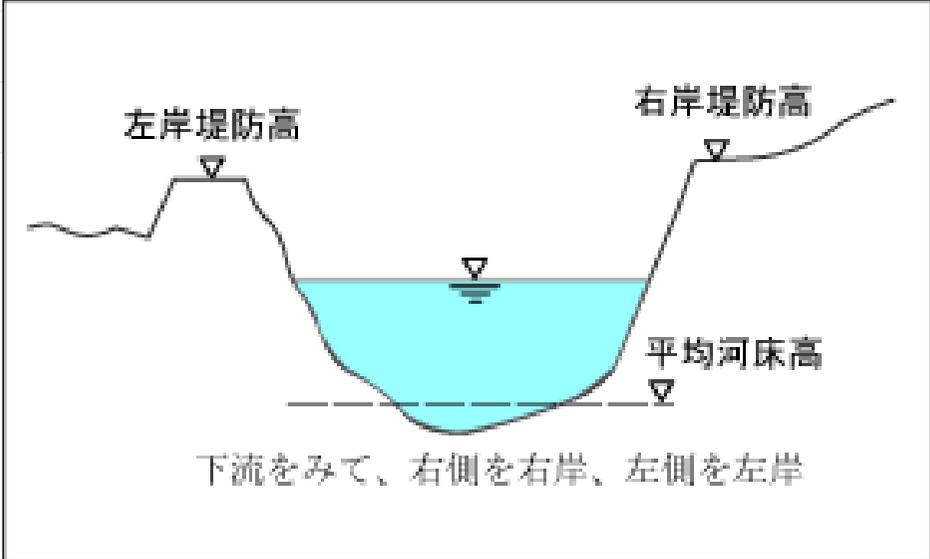
平均幅：40～80m

区 間	現況河道幅(m)		
	最小幅	平均幅	最大幅
0.0km ~ 2.0km	55	80	150
2.0km ~ 5.5km	62	75	110
5.5km ~ 7.0km	58	64	69
7.0km ~ 8.5km	40	56	63
8.5km ~ 14.0km	30	45	60
14.0km ~ 27.2km	18	38	87

2. 流域の自然特性

(3) 河道特性

0 ~ 9km: 河床勾配 1/1600
9 ~ 27km: 河床勾配 1/850



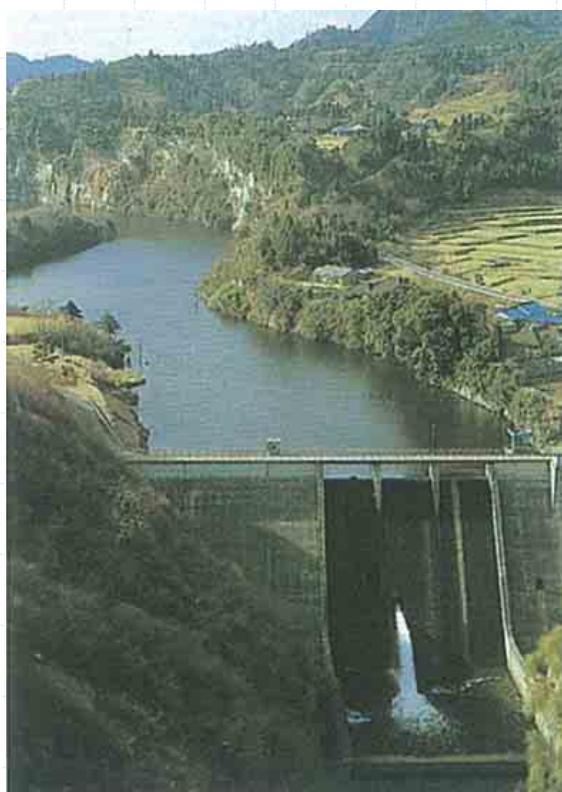
3.流域の社会特性

(1)小糸川流域の開発の歴史

水供給の安定化を図るための開発

流域内に水田があり、河口部に大規模な工場が建設されている。

昭和27年に三島ダム、昭和44年に豊英ダム、昭和47年に郡ダム、昭和54年に人見取水堰が建設された。



豊英ダム



人見取水堰

3. 流域の社会特性

(2) 流域の人口

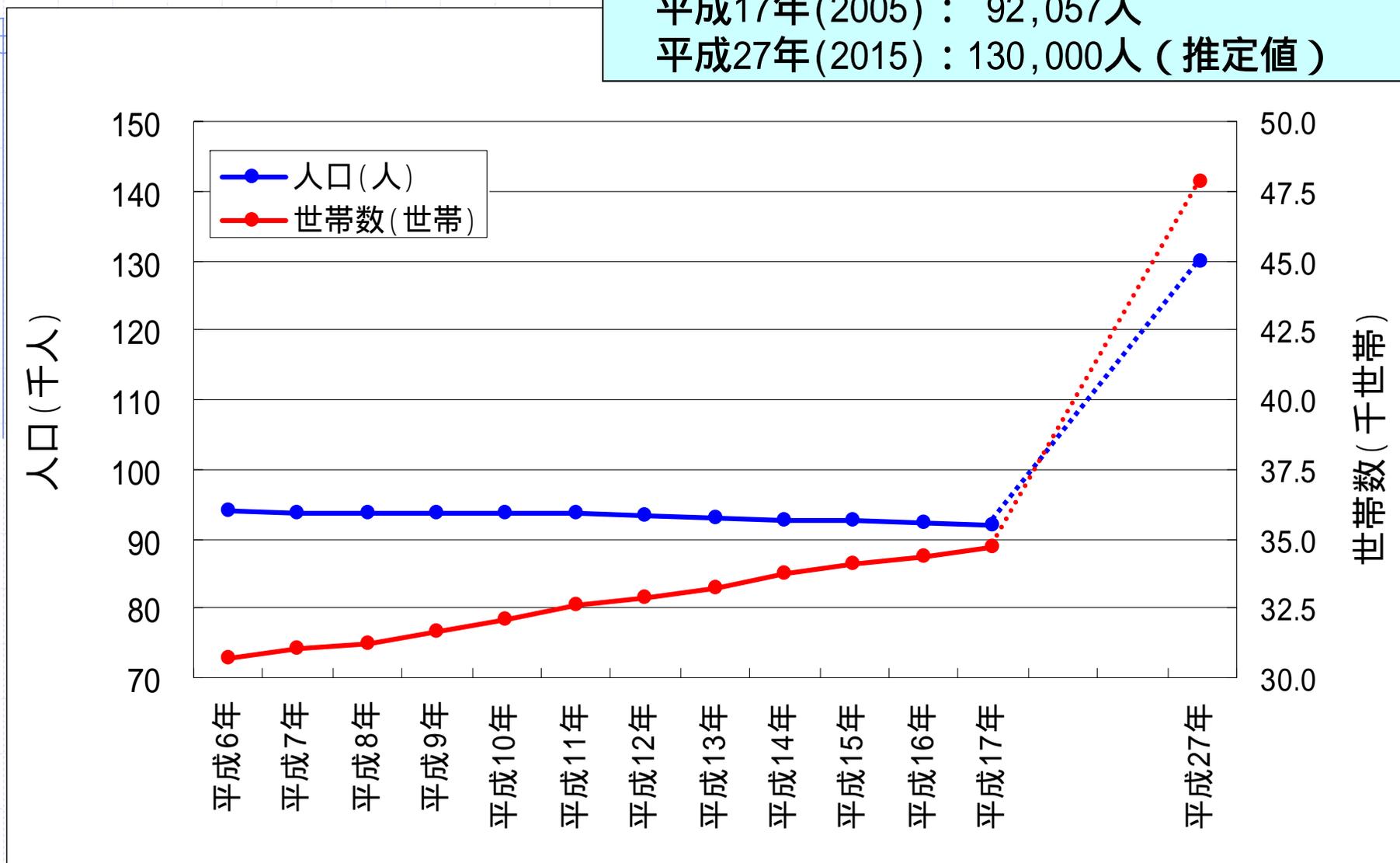
【君津市の人口の変遷】

平成 6年(1994) : 93,932人(ピーク)

平成12年(2000) : 93,367人

平成17年(2005) : 92,057人

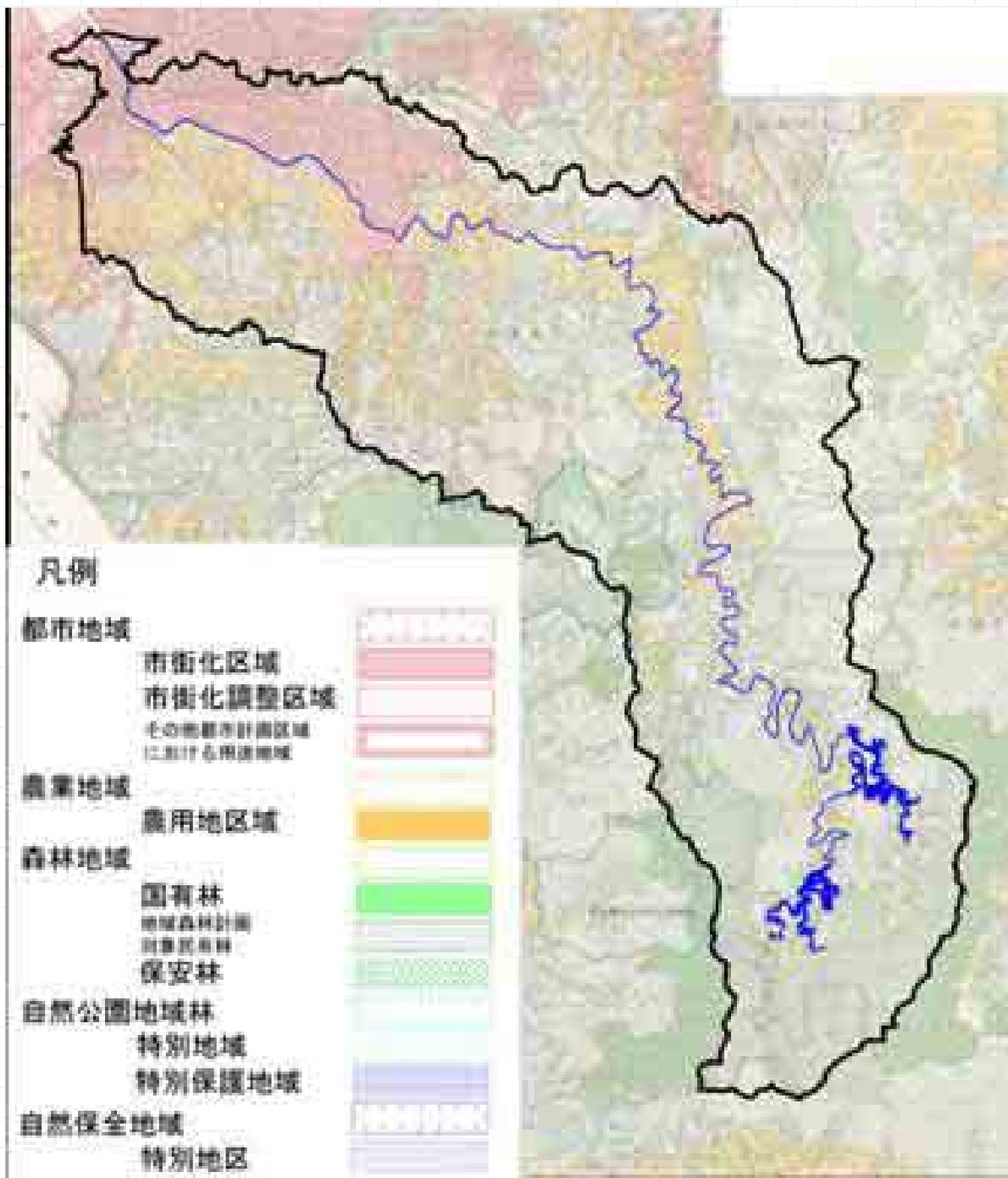
平成27年(2015) : 130,000人 (推定値)



出典：『君津市統計書』

3.流域の社会特性

(3)土地利用 (1/2)

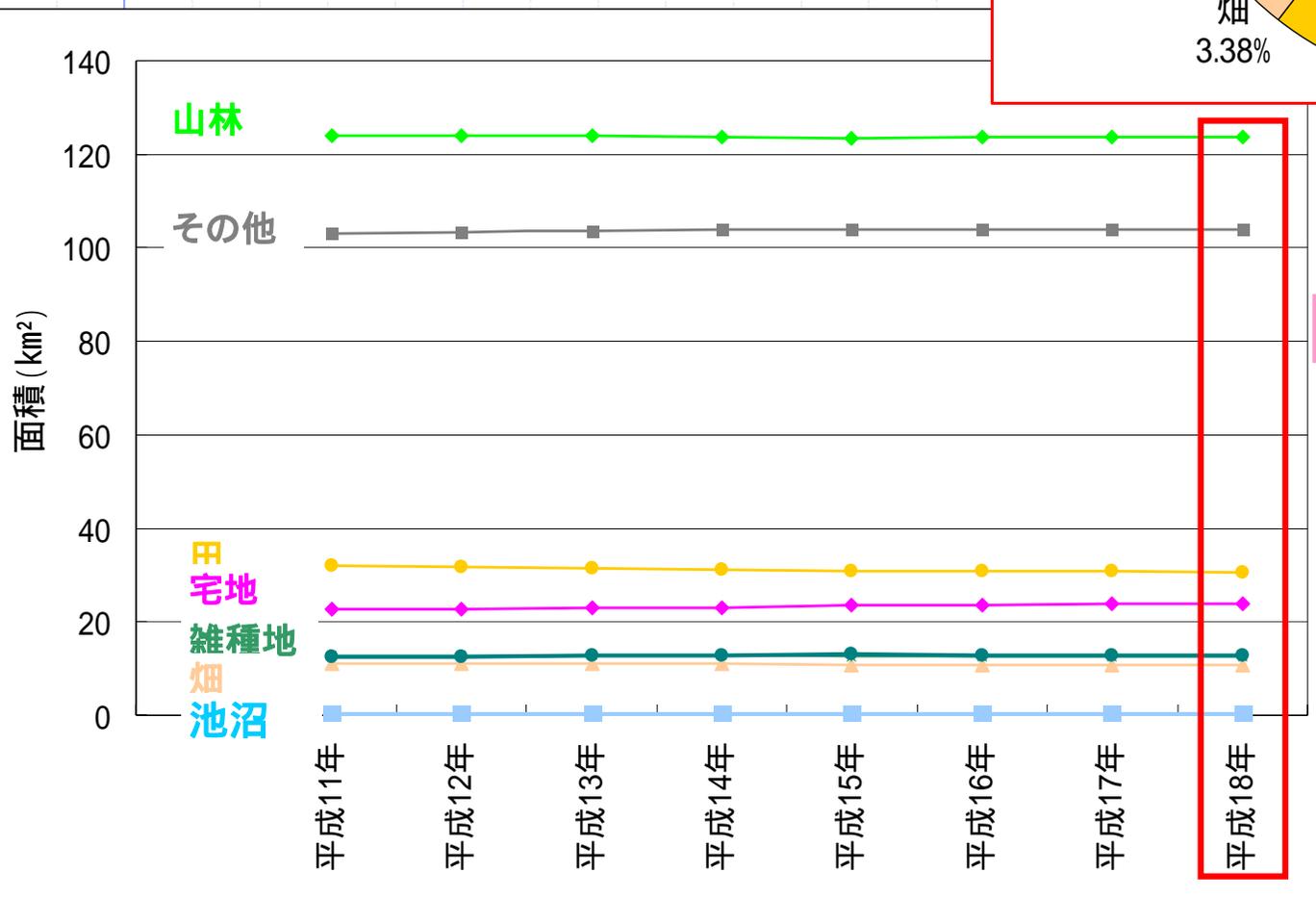
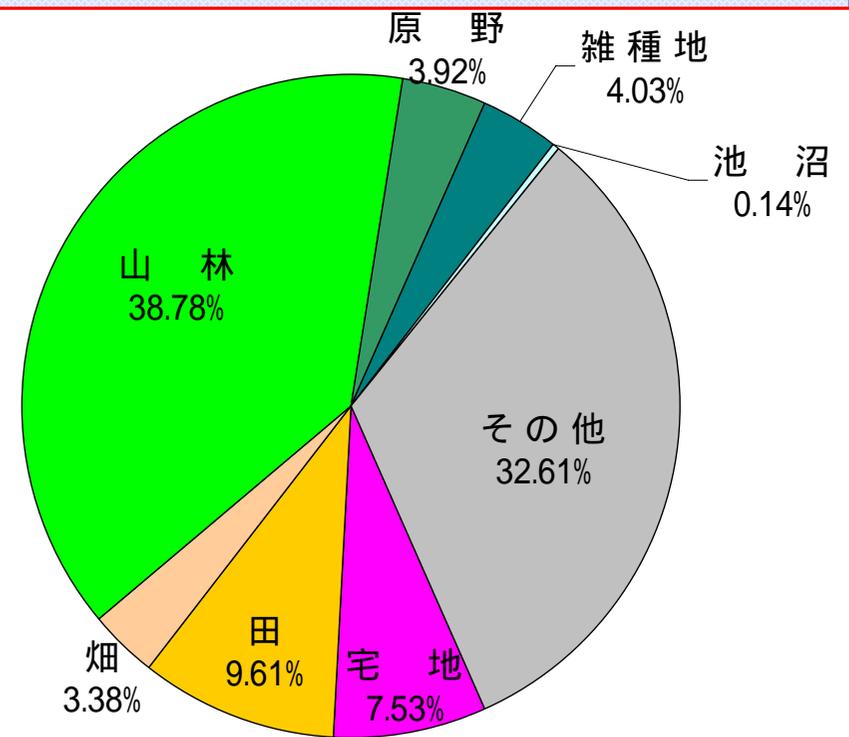


- ・下流平地部に、市街地が広がっている。
- ・沿川に、農用地が連なっている。

3.流域の社会特性

(3)土地利用 (2/2)

君津市の地目別土地面積の推移
・土地利用に大きな変化はみられない



平成18年度の内訳
・宅地が8%以下
・山林、その他がお
きな割合を占める
その他：保安林・
国有林等

出典：『君津市統計書』

3. 流域の社会特性

(4) 流域の諸計画 (1/3)

～ 千葉県の長期ビジョン～

『南部ゲートウェイ』に含まれる。

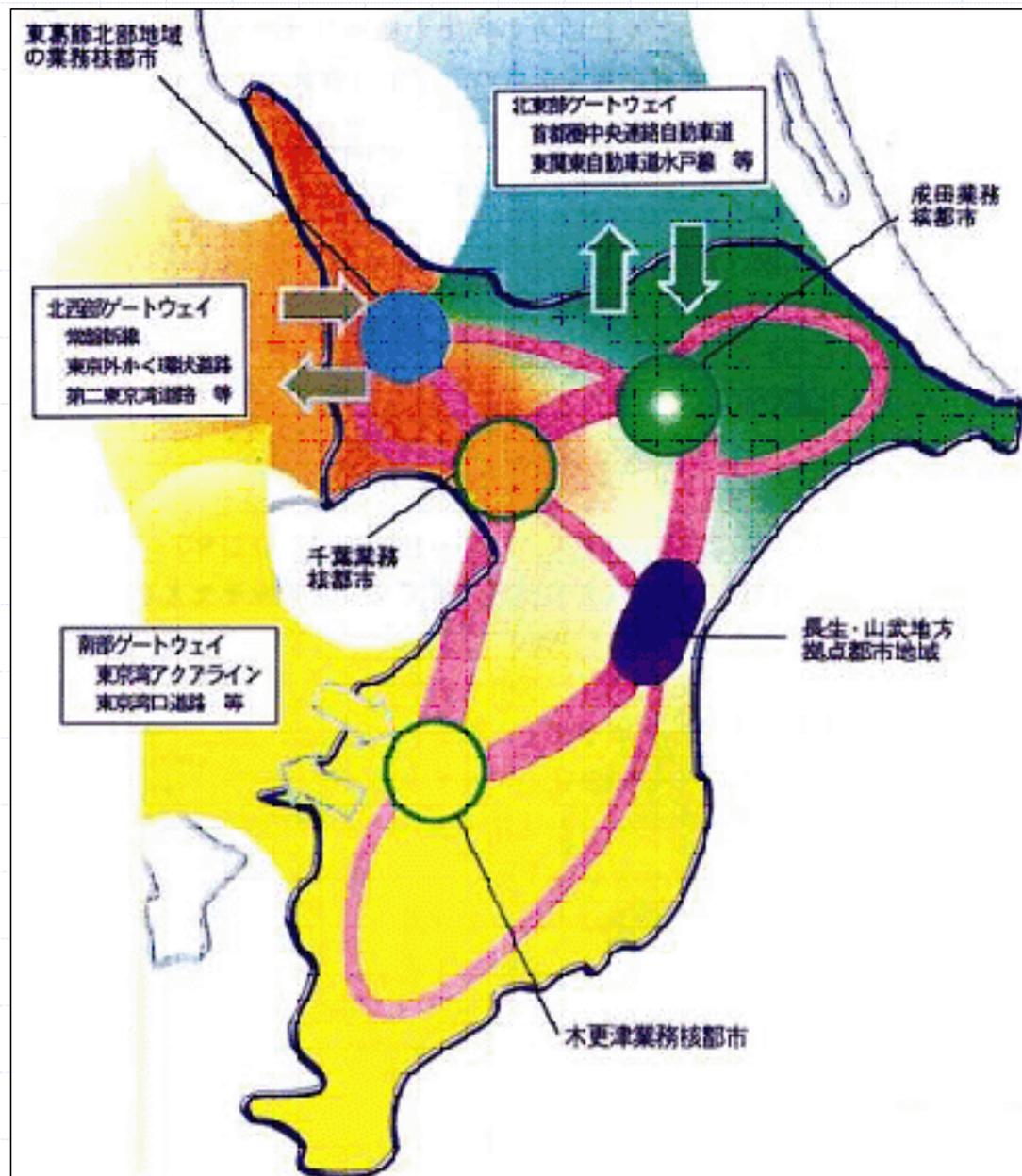
現状：

東京湾アクアラインの開通によって東京都心部と京浜地域の拠点を有する西日本経済圏との交流・連携を行うための玄関口としての機能を担う。

今後：

外房地域の主要都市を結ぶ**関連道路網の整備**がさらに進展

それにより、県内拠点間のネットワークが形成・強化されるとともに、西日本経済圏の**拠点とのつながりが一層深まる。**



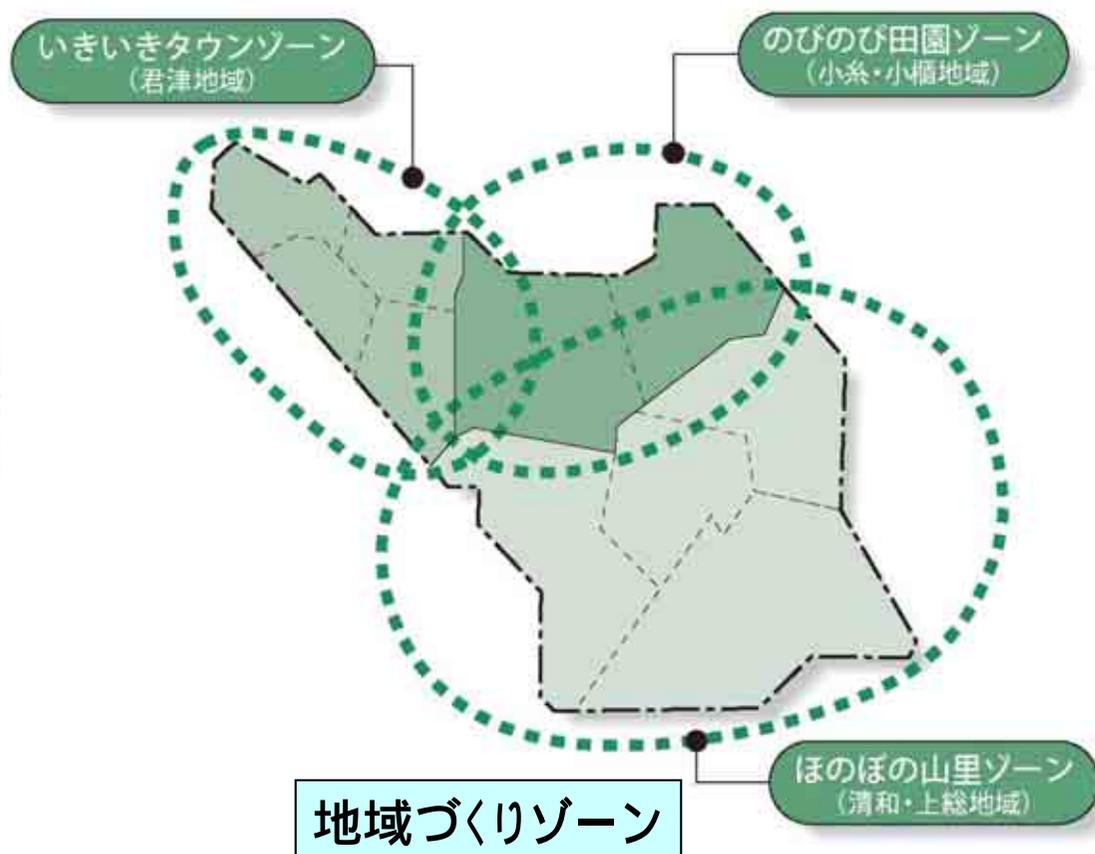
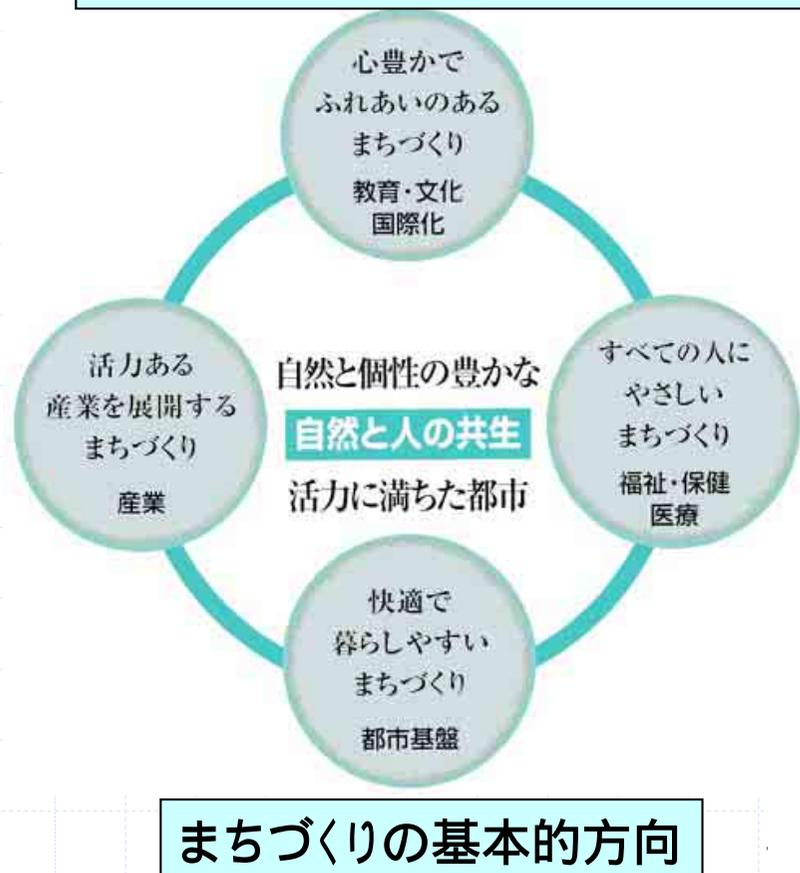
3. 流域の諸計画

(4) 流域の諸計画 (2/3)

～ 君津市の総合計画～

『基本構想』：2015年を目標年次として君津市の目指す将来都市像とそれに到達するまちづくりの基本的方向を定めたもの。

『まちづくり計画』：基本構想に基づき、実施できる施策とこれらの施策を合理的に推進するための方策などの基本的な内容を定めたもの。



3. 流域の諸計画

(4) 流域の諸計画 (3/3)

～ 富津市の総合計画～

『富津市総合計画』：平成13年度からのまちづくり指針

富津市の現状と課題、将来目指すべきまちの姿、そのための施策の方向を示す最も基本となる計画である。「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」から成り立っている。

「富津いきいきプログラム」 第二次基本計画(H18年度～H22年度)

- a) 企業誘致の推進
- b) 自然を活用した観光・地場産業の振興
- c) JR青堀駅から大貫駅にかけての都市的機能の充実
- d) 安全で安心して生活できるまちづくり
- e) 次世代育成への取り組み
- f) (仮称)福祉・教育施設の整備推進
- g) スポーツ・レクリエーションの振興
- h) 開かれた市政運営と市民サービスの向上

3.流域の社会特性

(5)流域内の主な文化財

流域内の指定文化財
全27(内4が富津市内)

国指定 : 3
県指定 : 10
市指定 : 14

建造物 : 5
天然記念物 : 3
彫刻 : 6
史跡 : 9
記史 : 4

例:【国指定】

- ・神野寺表門
- ・高宕山のサル生息地



4. 洪水被害と治水事業

(1) 過去の洪水による被害実績 (1/5)

洪水被害状況表

洪水名	発生年月日	降水量(流域平均) (mm)			被害規模		
		総雨量	日雨量	24時間雨量	氾濫面積 (ha)	浸水面積 (ha)	浸水家屋 (戸)
昭和45年7月洪水	S45.7.1	340.0	273.0	332.0	4,500	1,840	22,900
平成元年8月洪水	H1.8.1	435.0	238.0	424.0	157	-	32
平成8年9月洪水	H8.9.21	317.7	-	317.7	-	29	4
平成18年12月洪水	H18.12.26	222.8	-	222.8	-	65	0

4. 洪水被害と治水事業

(1) 過去の洪水による被害実績 (2/5)

～昭和45年7月洪水～

昭和45年7月1日に発生

総雨量：340.0mm

24時間降雨：332.0mm

氾濫面積：4,500ha

浸水面積：1,840ha

浸水家屋：22,900戸

下流側で広範囲に浸水
(災害復旧助成事業前
より)



昭和45年 浸水状況写真



農地の埋没



貞元地先